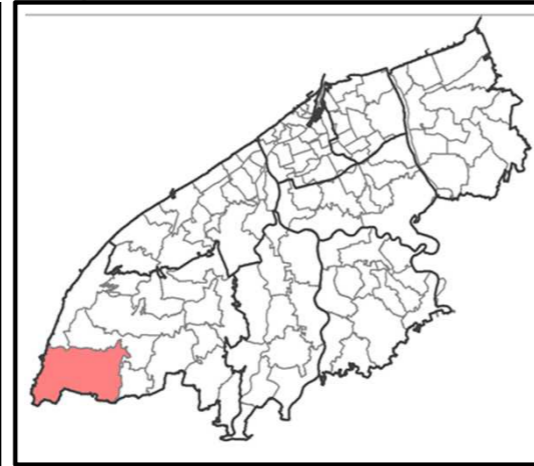


様式1 人口、建物、避難所等の施設、災害危険性の評価

●住所名称

Table with 2 columns: 住所名称 (Address Name) and 町名 (Municipality Name). Rows include 油島, 新谷, 石瀬, 岩室温泉, etc.

●位置図



●地区内の避難所・津波避難ビルなど

Table listing evacuation facilities within the district, including facility name, height, number of floors, and availability for various disaster types (earthquake, tsunami, flood, etc.).

●施設・団体

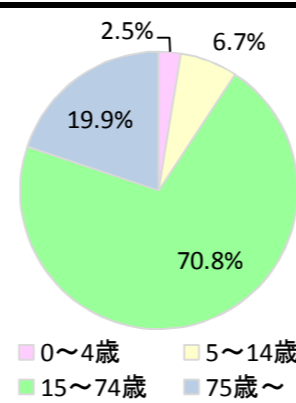
Table listing various facilities and organizations such as 市役所・区役所等, 警察・消防, 消防団, 水防倉庫, etc.

●地区外の避難所・津波避難ビルなど

Table listing evacuation facilities outside the district, including facility name, height, number of floors, and availability for various disaster types.

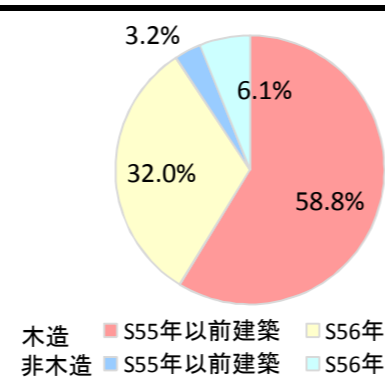
●人口

Table showing population statistics: 総人口, 0~4歳, 5~14歳, 15~74歳, 75歳~, 65歳以上人口, etc.



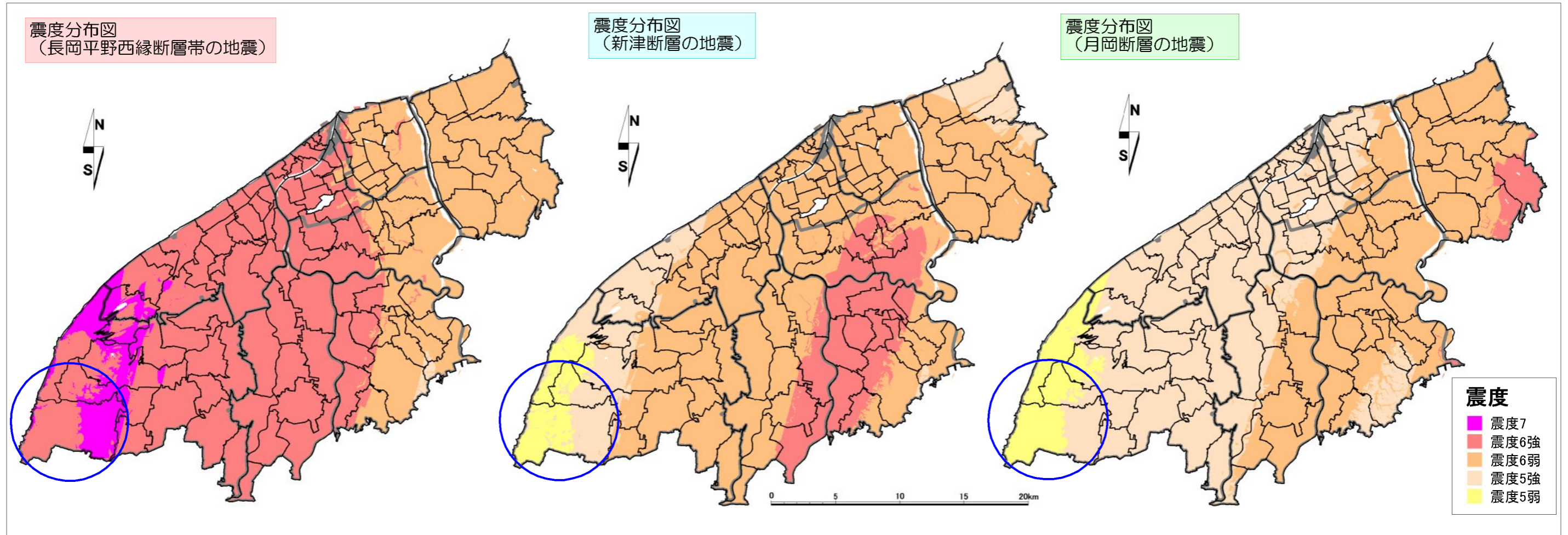
●建物関連指標

Table showing building-related indicators: 総棟数, S55年以前建築, S56年以降建築, etc.



●災害危険性の評価

Table evaluating disaster risks for 津波 (Tsunami) and 地震・水害 (Earthquake/Water Damage), including descriptions of potential hazards.



	長岡平野 西縁断層帯	新津断層	月岡断層
地震の規模: モーメント マグニチュード	7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当)	6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当)	6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当)
(参考※)	平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年 断層の活動性 3m/千年程度	明確な活動性は明らか になっていない。 月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。	平均活動間隔 7,500 年以上 断層の活動性 0.4m/千年程度

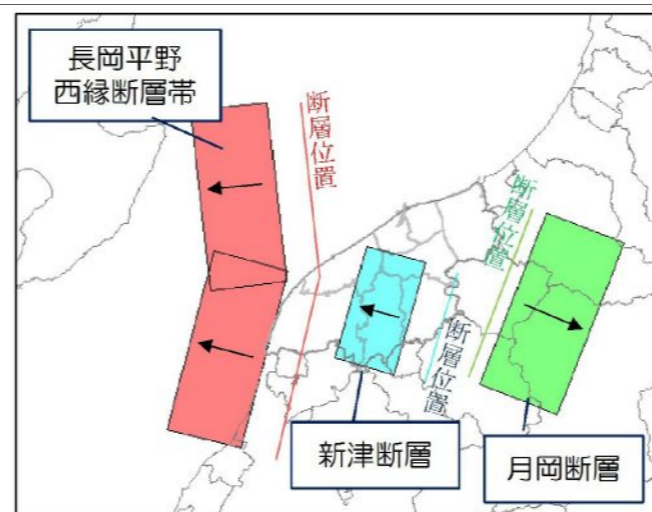
※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。

【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】

過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>

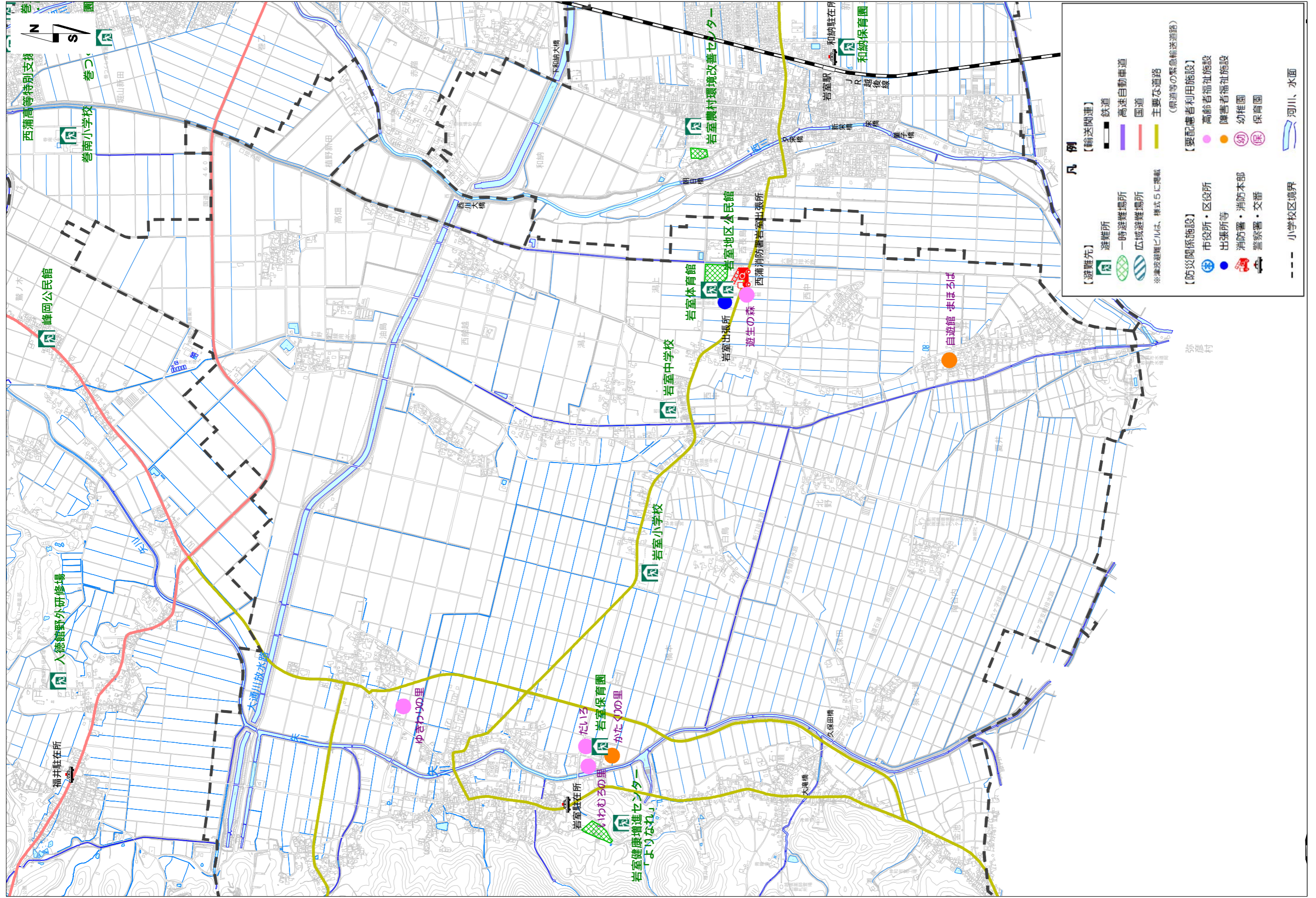
モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。



← は、断層の傾きを示しています。

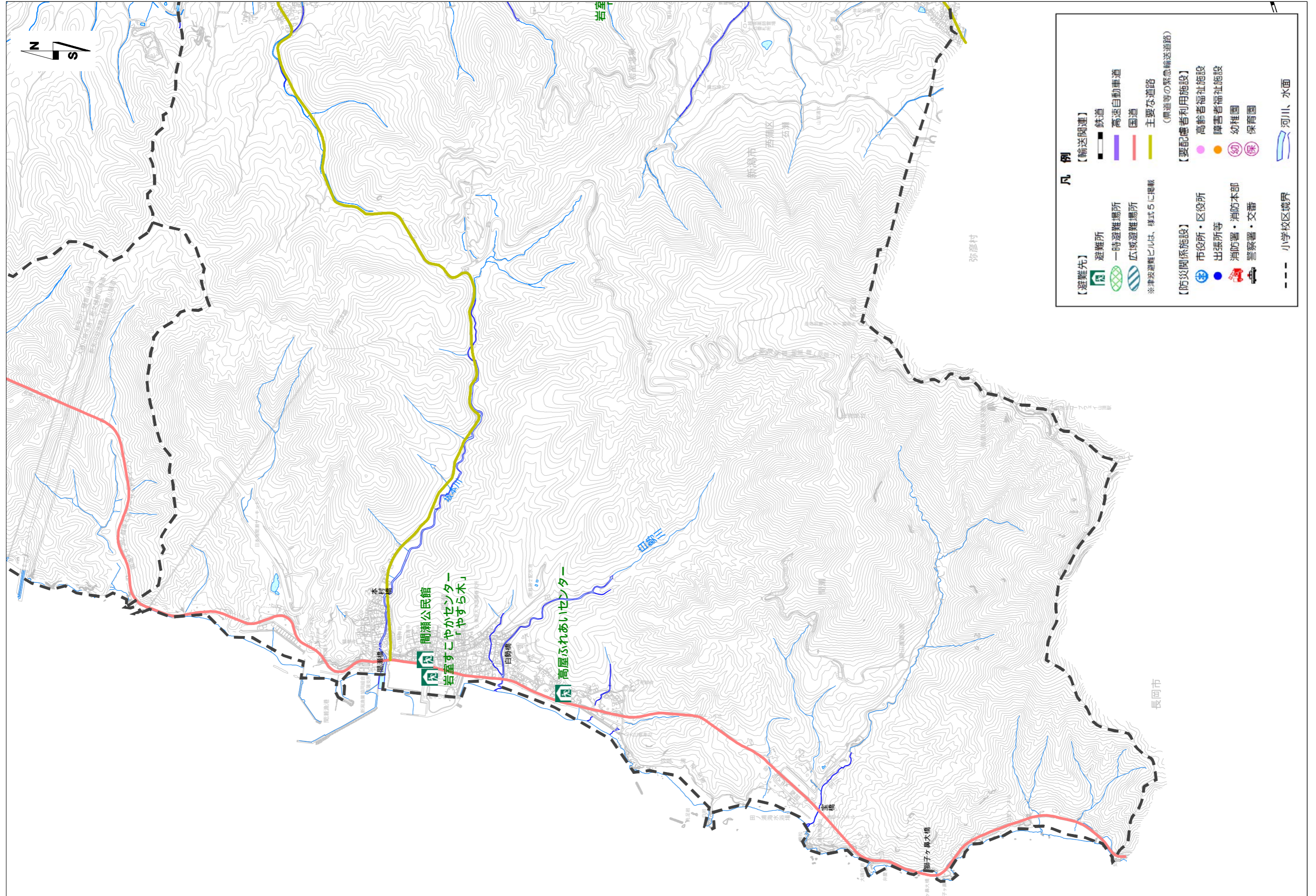
様式3 防災地図

岩室小学校区(1)

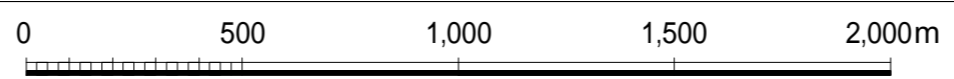


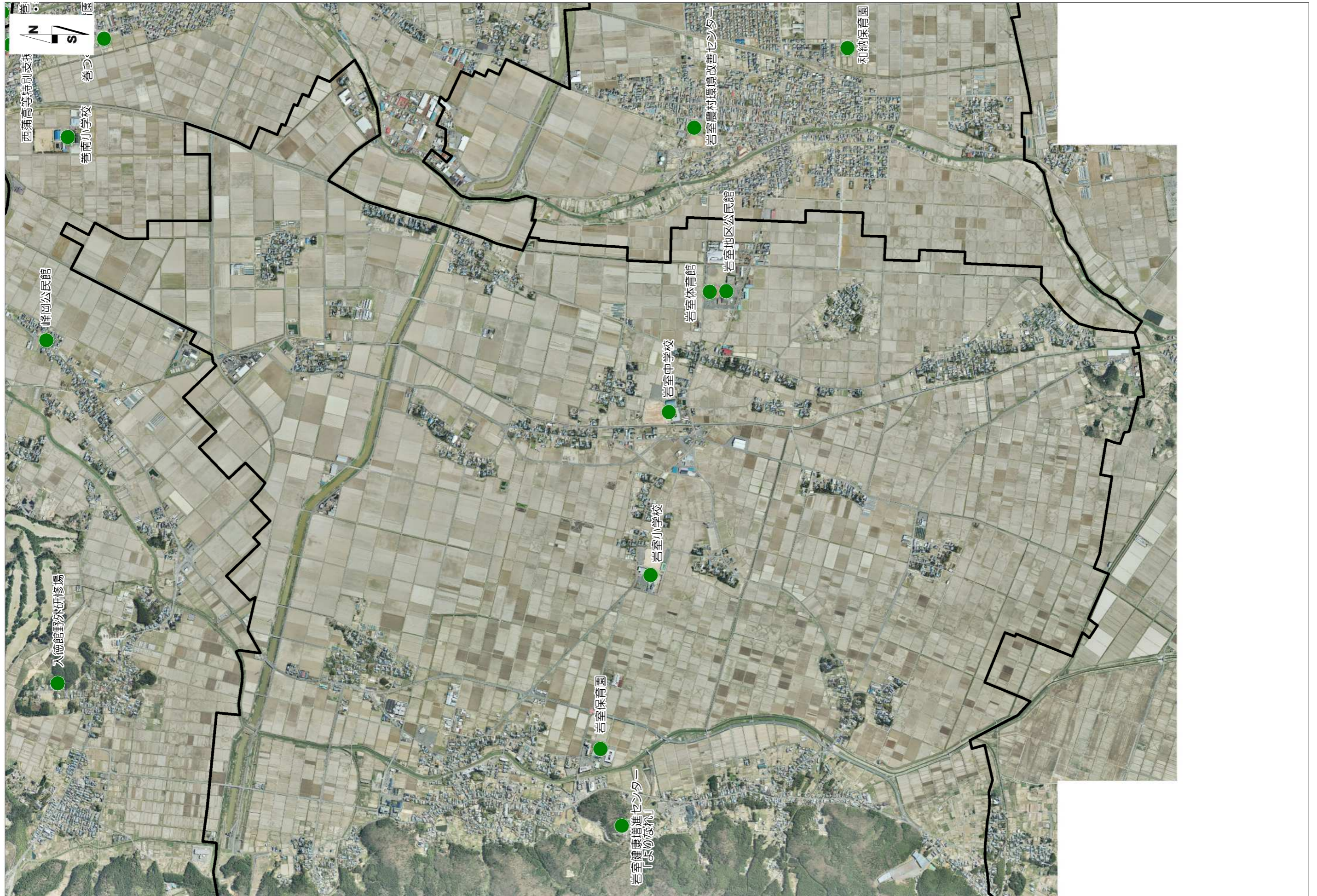
[出典] 基礎の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)

0 500 1,000 1,500 2,000m



[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年,平成25年,平成26年)

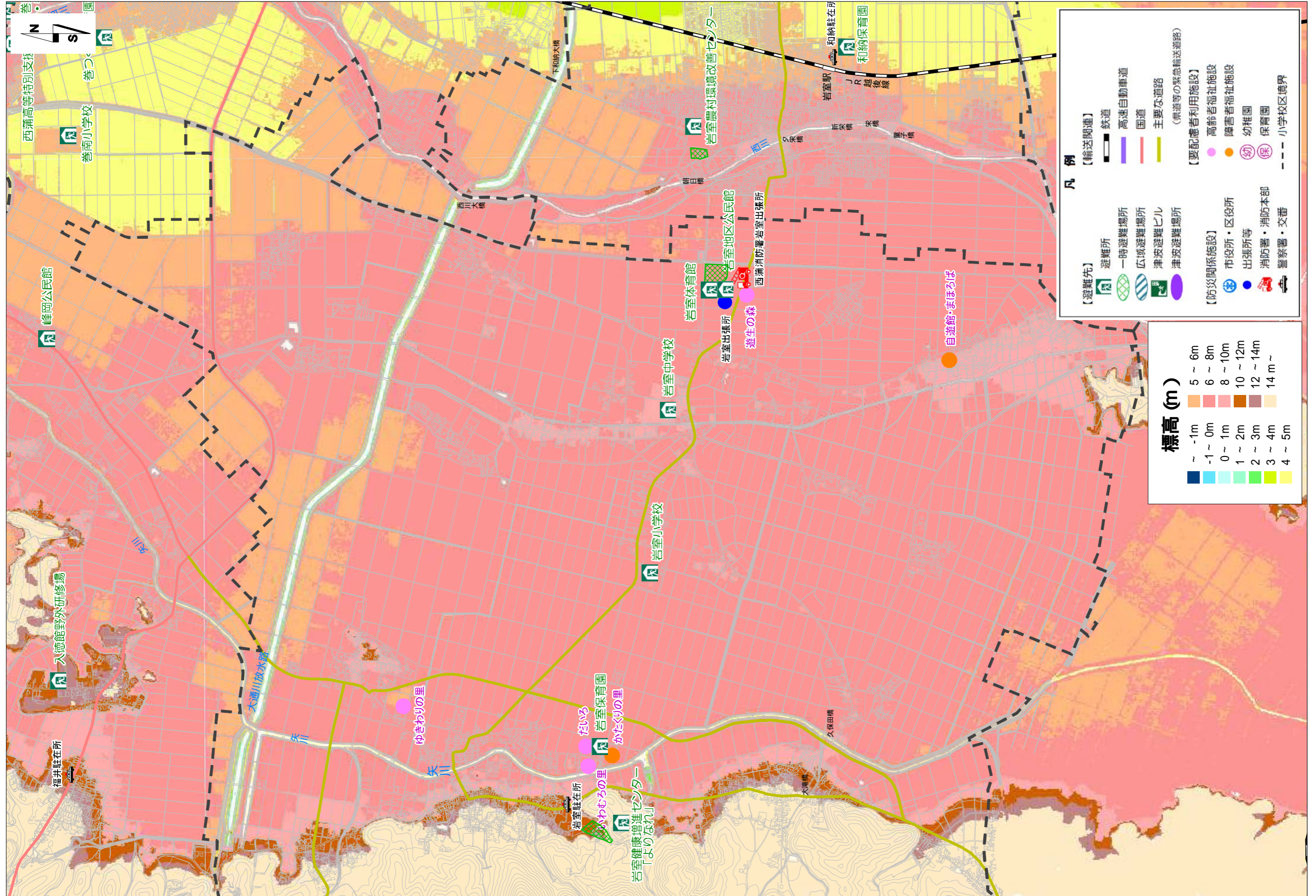




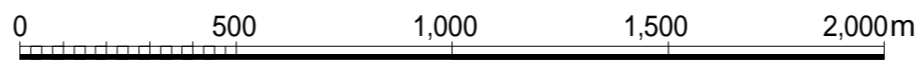


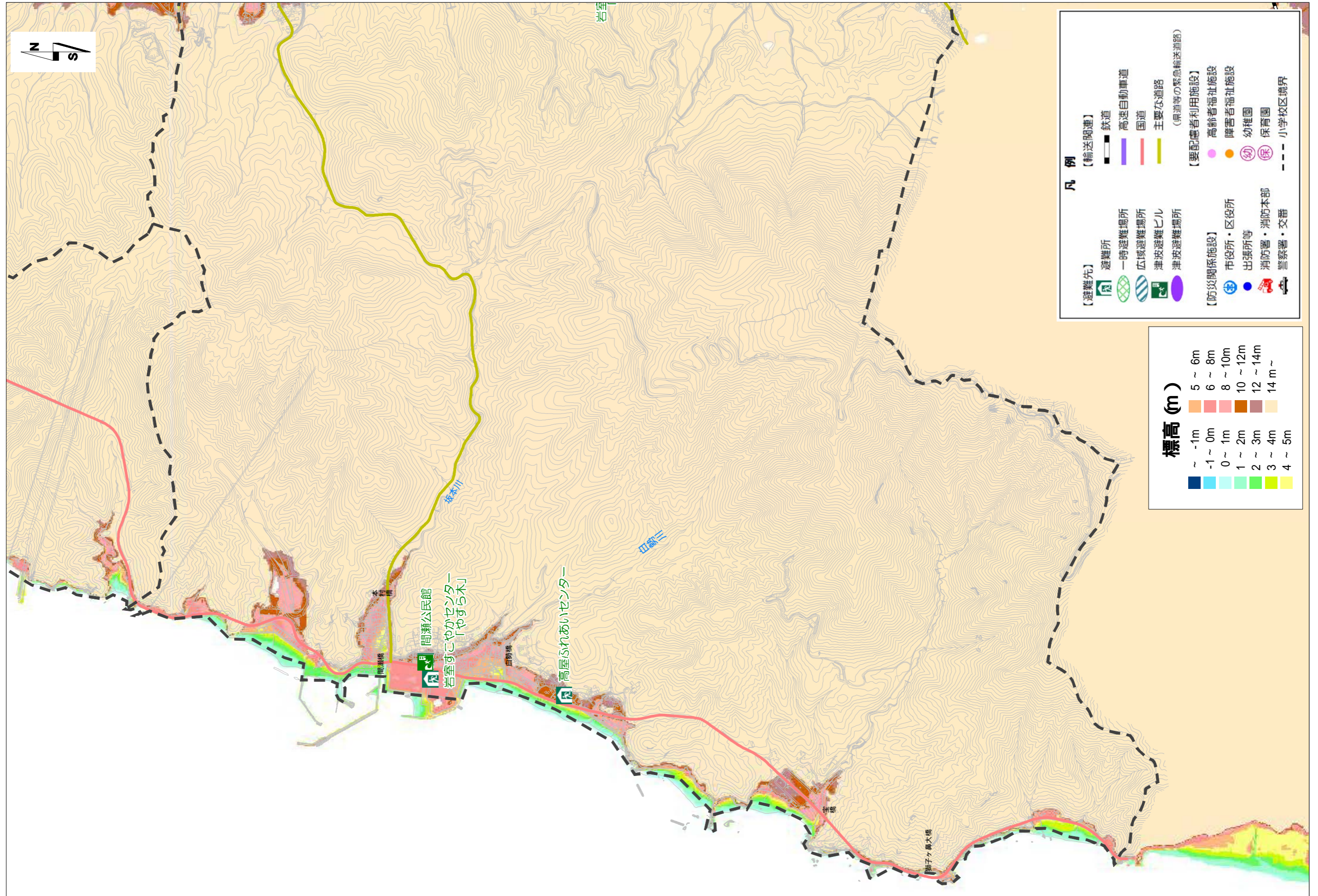
様式5 標高分布図

岩室小学校区(1)



[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年,平成25年,平成26年)
5mメッシュDEM (国土地理院,平成25年)

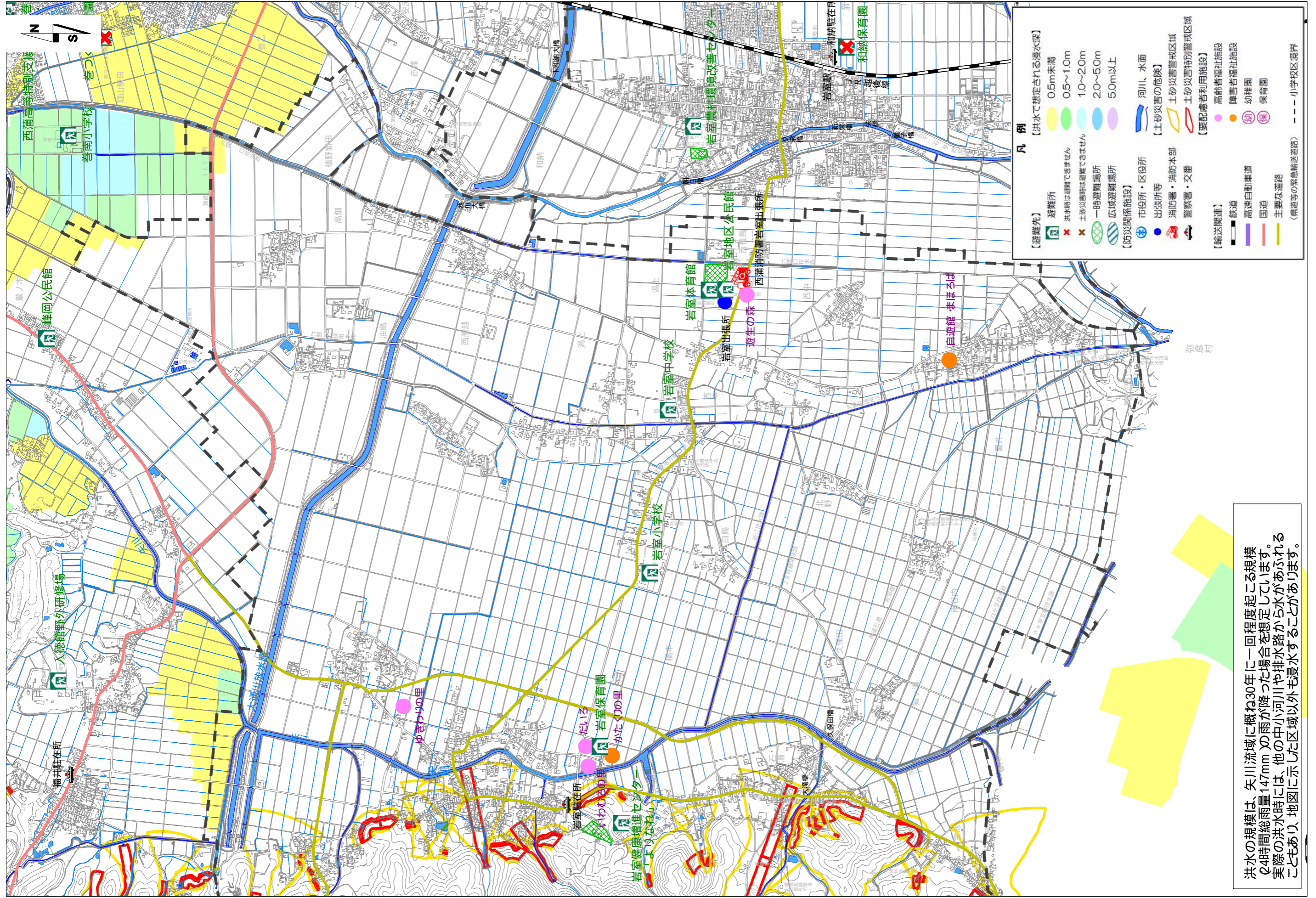




[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年) 5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)

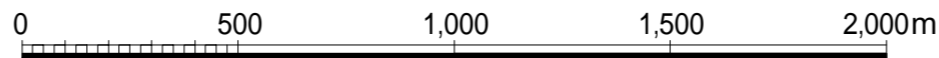
様式6 - 1 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（矢川）

岩室小学校区(1)



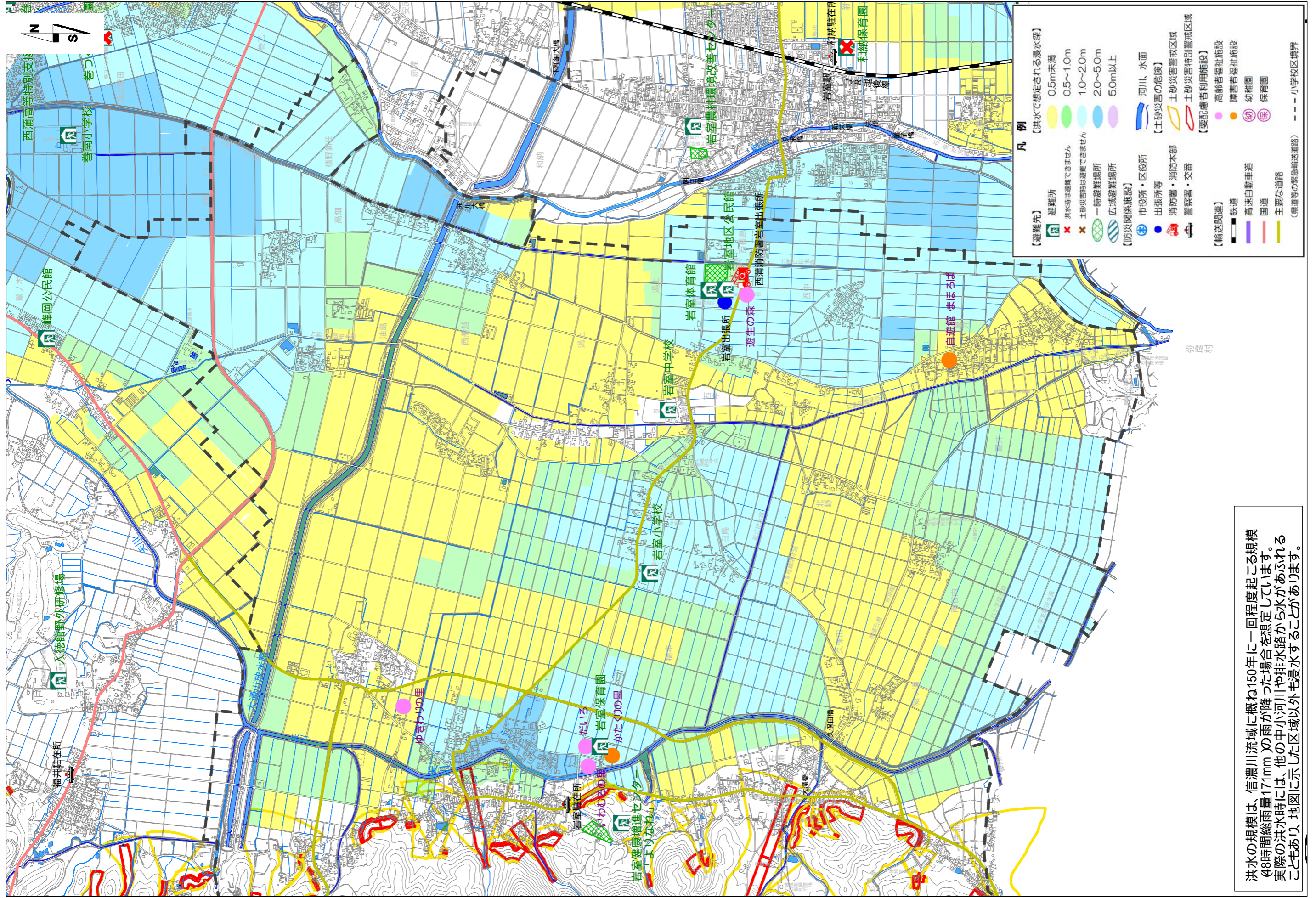
洪水の規模は、矢川流域に概ね30年に一回程度起こる規模
 Q4時間総雨量147mmの雨が降った場合を想定しています。
 実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれる
 こともあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

【出典】 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年,平成25年,平成26年)
 矢川浸水想定区域 (新潟県,平成18年8月1日)



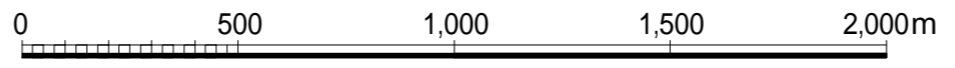
様式6 - 2 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（大河津分水路）

岩室小学校区(1)



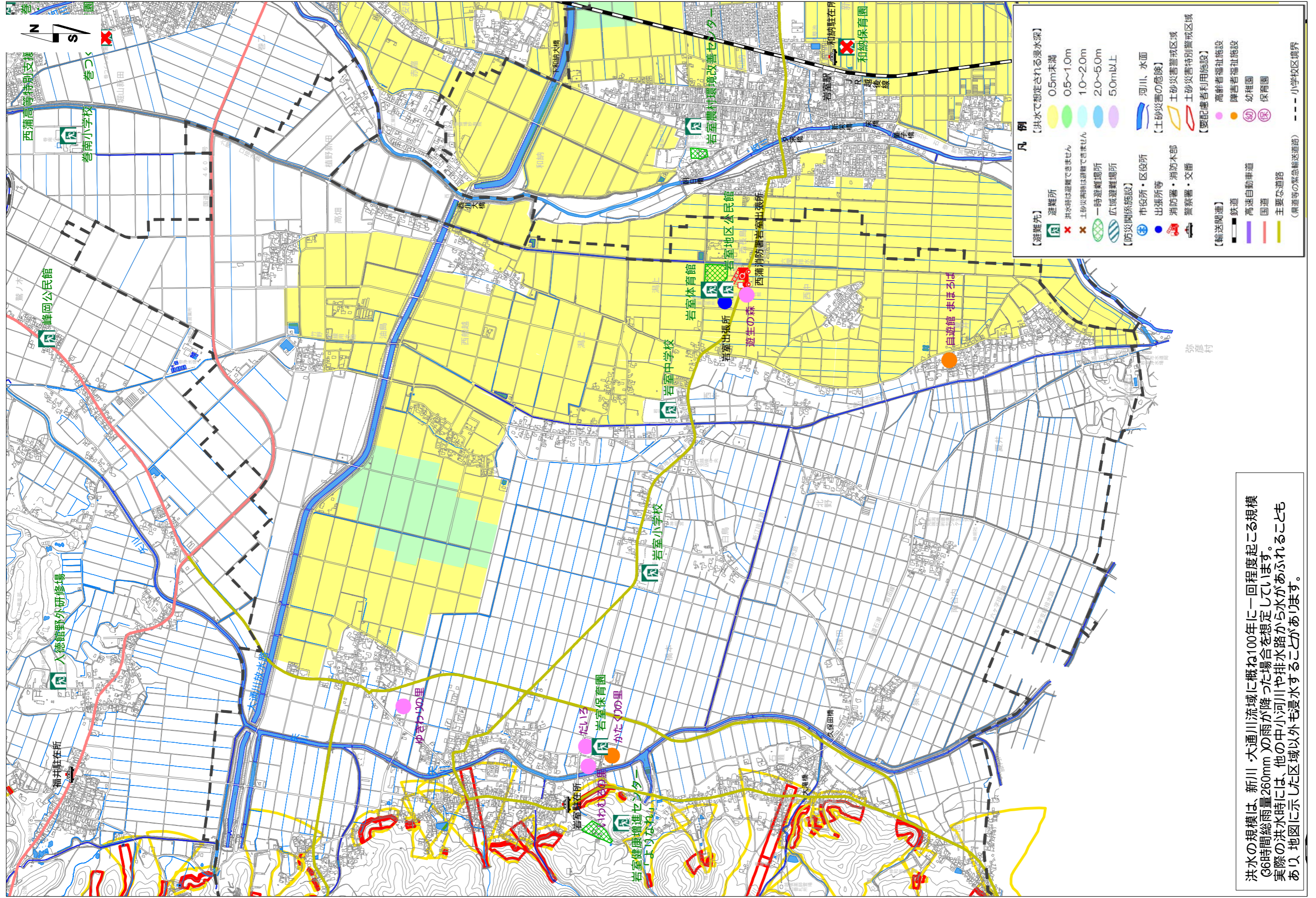
洪水の規模は、信濃川流域に概ね150年に一回程度起こる規模(48時間総雨量171mm)の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

【出典】 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)
 大河津分水路浸水想定区域(国土交通省,平成14年4月30日)



様式6-3 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（新川・大通川・広通川・西山川・大通川放水路）

岩室小学校区(1)



洪水の規模は、新川・大通川流域に概ね100年に一回程度起こる規模
 6時間総雨量260mmの雨が降った場合を想定しています。
 実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれること
 あり、地図に示した区域以外も浸水することがあります。

【出典】 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年,平成25年,平成26年)
 新川・大通川・広通川・西山川・大通川放水路浸水想定区域 (新潟県,平成20年2月26日)

